



2年学年通信

大阪市立淀川中学校 2月16日 NO.12



学年末テスト＝2年最終評価

2年生最後のテストが迫っています。計画的に学習をすすめていますか？「学習の成果を確認する場」としてテストを捉え、理解できているところとそうでないところをはっきり分け、理解不足の部分はしっかり復習しましょう。同じ間違いを繰り返さないことが大切です。

また、学習の基本となる授業や宿題、家庭学習の取り組みは進んでいますか？提出物を出すことは時間を守ることであり、約束を守ることです。提出物は個人の能力や得意・不得意に関係なく個人の努力の成果です。

学習の基本となることからをおろそかにせず、自分に厳しく学習を続けましょう。努力は人を裏切りません。努力することが当たり前になる日が必ず訪れます。



修学旅行に向けて

1945年8月6日8時15分、広島になぜ原子爆弾が落とされたのでしょうか。

広島市は日本の軍事施設・交通の拠点でした。また空襲被害が比較的少なく、原爆の威力を測りやすいと判断されたからです。広島が選ばれたのは偶然ではなく、アメリカの選択でした。

原爆投下時、広島市には35万人が暮らしていましたが、投下により14万人の命が一瞬で失われ、5年後に死者は20数万人に増加しました。爆風・熱線・放射線による被害で生き残った人も、後遺症や無知からうまれた差別、心の傷に苦しむこととなり、一人ひとりの生活が壊れてしまいました。

原爆ドームは悲惨な歴史を忘れず、核兵器の恐ろしさを世界に伝えるために1996年、世界遺産に登録されました。壊れたまま残すという選択そのものが、平和へのメッセージです。

平和資料館では被爆者の証言や伝承者のお話を聞き、展示見学を行います。講話や遺品から当時の人々の生活を想像してください。なぜ今も原爆の話を学び続けるのか？原爆を経験した人の思いをどう受け取るのか？ともに考えましょう。

平和とは戦争がないだけでなく、命や人権、日常生活が守られていることを指します。今回の修学旅行で、平和のために自分たちには何ができるのかを考え、平和のバトンを引き継いでいきましょう。

